

富山シャクヤクのブランド化推進事業

H24年度～ センター内圃場の230品種のシャクヤクの中から、薬用として有用な切り花用品種「春の粧」を「富山ブランドシャクヤク」として選定し、栽培を普及している。R4年秋から農家産シャクヤクが、国内製薬メーカーに出荷されている。

➡ 今後、さらなる栽培普及を進めるために、以下の研究を進めている。

品質確保及び安定供給体制の確立

目的

「春の粧」の品質を確保し、安定供給するための体制を構築する。
毎年秋にセンター内圃場及び栽培農家圃場において収穫されるシャクヤクの生根収量及び有効成分分析を行い、データを集積し、今後の農家への栽培指導に活かす。また、栽培・加工の工程の中で重要な管理項目を設定する。

研究計画
R6～8



春の粧

安定生産に向けた肥培管理方法の検討

目的

「春の粧」の栽培普及のために、収量と品質の高位安定が得られ、かつ作業の省力化が考慮された普及技術を確立する。

これまでの
成果

基本的な栽培方法はほぼ解明、追肥量の検討等により、単収 3t/10aが可能
生育・収量調査及び有効成分分析結果に基づく施肥量等の検証
省力的な技術について、現場への普及の参考となる事例を調査

研究計画
R6～8



生産者の栽培圃場

成分分析

目的

成分分析により「春の粧」の品質を保証し、栽培及び販売の促進さらにブランド化の推進に寄与する。

- ①上記各試験サンプルの成分分析を行う。
- ②一部サンプルについて日局(全項目)を実施し、日局品としての品質を確認する。

・生薬の性状・純度試験(重金属)(ヒ素)・灰分・確認試験(呈色)(TLC)・乾燥減量・酸不溶性灰分

研究計画
R6～8